ふれあいネットワーク

JOSO ふくし

SOCIAL WELFARE

2011.JUNE.16
vol. 18

平成 23 年 6 月16日発行
常総市水海道天満町2472
☎23-2233　FAX23-2234

社会福祉法人**常総市社会福祉協議会**
市民・福祉センター「ふれあい館」内
http://www.joso-shakyo.jp　E-mail info@joso-shakyo.jp

支援物資の仕分け作業をしました。
「災害ボランティアセンター」

もくじ

特集　災害ボランティアセンター …… 2
地域のたまり場・社協支部通信 …… 3
社協会員会費のお願い …… 4
北から南から・いんふぉめーしょん …… 5
ボランティア・市民活動ひろば …… 6
いってみてきいて …… 7
ちょっとおじゃします …… 7
あなたのハート・まんが …… 8
さんぽみち・お知らせ …… 8

避難所お別れ交流会

ボランティアさんがガレキの処分をしています。　関連記事２P

赤い羽根募金 この広報紙は、赤い羽根共同募金の一部で作られています。

特集

災害ボランティアセンター 活動報告

平成23年3月11日、午後2時46分頃に発生した東日本大震災により、東北地方を中心に東日本一帯が大きな被害を受けました。

社協では、市との協議の上3月12日に災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアの募集を開始しました。

登録ボランティアの活動により、高齢者世帯や障がい者世帯等の安否確認をいち早く行いました。その後、常総市内での被災世帯のニーズを把握し、ボランティアのコーディネート（仲介）作業をおこない、主に崩落した瓦・崩れた塀の片づけなどのボランティア活動をしました。

また、市との協働作業で支援物資の募集を市民の方に依頼し、その仕分け作業もボランティアの協力で行われました。

その他に、義援金の受付を行い、茨城県共同募金会に義援金を送金しています。

▲ 災害弱者の安否確認をしています。

◀瓦の処分をボランティアで行いました。

▲ 支援物資を品目やサイズごとに仕分けました。

災害ボランティア登録者数　１０２人
災害ボランティア保険加入人数　１２１人
保険料４９０円（天災タイプ）

※被災地でのボランティアを行う方は、予め災害ボランティア保険に入ってから被災地での活動となります。

義援金受付件数　４５件
１，７８１，３４７円

６月７日現在

災害ボランティアセンターの閉鎖について

今回の震災に対しては、多くのボランティアの皆さまのご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、市内住民からのボランティア依頼はほとんどなくなりました。

市内の被災状況の安定、ボランティアニーズの収束に伴い5月31日をもちまして、災害ボランティアセンターを閉鎖いたしました。今後、震災に関してのボランティア依頼がある場合は、ボランティア・市民活動センターで対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。

地域のたまり場　紹介ひろば ④

子育てサロン 常総石下母親クラブ（ポップンクラブ）

〝ふれあいサロン・地域のたまり場・福祉カフェ〟など地域での交流を目的とした活動を紹介するコーナーです。

今回の〝紹介ひろば〟では、子育てサロンの紹介です。

こちらのサロンは平成17年に8組のお母さん方ではじまりました。現在は30組以上の親子や、ボランティアとして協力してくれる方と楽しく運営しています。

毎週金曜日に石下総合福祉センターにあつまり、親子で、そして子どもたちどうしで楽しく遊んでいます。その他にも世代間の交流活動、研修会や講座の開催、季節ごとのレクリエーションなど行事はさまざまです。

昨年の第４回「子育て応援隊・親子ふれあいまつり」では40団体で約７００名があつまり、各種団体の情報交換・子育て相談・栄養相談などを行いました。世代間交流事業では、普段おじいちゃんや、おばあちゃんとお話しする機会がない子どもたちが、初めは戸惑いながらも楽しく遊べるようになりました。

ポップンクラブには未就学児の親子、子育てに関心のあるボランティアの方など、市内及び近隣市町村の方まで入会できます。地域での子育てに参加してみませんか。

▲ カード合わせで遊びながらの食育指導

社協支部通信

現在、社協には２７の支部があります。より地域に密着した福祉活動を進めるため、様々な事業を行っています。

社協菅生支部

地域で元気にイキイキと ～ふれあいのつどい～

菅生地区の高齢者の皆さんを対象に「ふれあいのつどい」を開催しました。参加者61名と区長、地域女性団体などを加えて総勢約80名が、輪投げとシルバーリハビリ体操で楽しく交流しました。

輪投げでは楽しい雰囲気の中で、シルバーリハビリ体操では、指導士の説明を受けながら真剣に取り組む姿が見られました。

終了後には、地域女性団体の手作りけんちん汁に舌鼓を打ち、心もお腹も満足の一日でした。

社協坂手支部

『ためになる講座！』開催しました ～高齢者いきいき講座～

「認知症にならないためにも体を動かすことは大事だね」「今日はとてもためになったよ」と、参加した皆さんは笑顔で話していました。

坂手地区の皆さんを対象に「高齢者いきいき講座」を開催しました。坂手公民館に約60名の参加のもと、脳を活性化するレクリエーションを交えた介護予防の講話を聞きました。その後、無理なく家庭でできるシルバーリハビリ体操で、時には真剣に、時には笑いありと終始なごやかな雰囲気の中で行われました。

社協（しゃきょう）は社会福祉協議会の略称です

社協会員会費ご協力のお願い

社協は、高齢者福祉や障がい者（児）福祉をはじめ福祉啓発・ボランティア活動推進など、さまざまな福祉事業を展開しています。

こうした事業を推進し、市民総ぐるみの福祉のまちづくりに役立てるため、市民のみなさまに毎年社協会費のご協力をお願いしています。

今年も水海道地区は社協支部の役員、石下地区は自治区町会を通じ、各ご家庭や事業所に伺いますので皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先
社協本所　（23）2233
社協石下支所　（30）8789

会費の使い道

皆さまのご協力により、昨年度は会費が9,473,500円集まりました。

この会費は、社協支部の福祉活動、手話講習会、高齢者専門講座、心配ごと相談、法律相談事業など、地域福祉の向上に活用させていただきました。

▲聴覚障がい者との交流のための手話講習会を開催しました。

福祉のまちづくり
～平成22年度社協の決算～

「市民参加の福祉のまちづくり」を推進している社協の一般会計収入支出決算は次のとおりになりました。

※厚生労働省が制定した社会福祉法人会計基準で処理を行っています。

単位：円

会計区分	事業内容	収入決算額	支出決算額	差引残額
1．法人運営事業会計	職員人件費、市民福祉センター管理費、公用車の維持管理費、困窮者への貸付	109,335,826	104,432,248	4,903,578
2．調査啓発活動事業会計	調査研究、広報活動、支部活動、お食事会、ボランティア活動推進、交通遺児入学祝金、ボランティア協力校活動、生活福祉資金貸付ほか	9,254,056	7,542,345	1,711,711
3．共同募金配分事業会計	老人福祉、児童・青少年福祉活動、ボランティア活動育成事業、地域福祉活動推進、歳末たすけあい運動	12,672,736	11,113,495	1,559,241
4．受託事業会計	在宅福祉サービス事業「せいむ」	4,155,927	4,000,271	155,656
	地域ケアシステム推進事業	16,619,660	15,826,795	792,865
	乗合交通事業	43,863,224	43,861,734	1,490
	三坂児童館管理事業	8,024,692	7,897,365	127,327
	心身障害者福祉センター管理事業	33,898,488	32,383,195	1,515,293
	水海道児童センター管理事業	14,806,122	14,198,814	607,308
	児童デイサービスセンター管理事業	18,500,748	16,916,530	1,584,218
5．介護保険事業会計	訪問介護事業（ホームヘルパー・生きがいヘルパー派遣）	41,650,183	31,433,162	10,217,021
	訪問入浴介護事業（移動入浴車による入浴）	9,385,760	8,124,991	1,260,769
	居宅介護支援事業（ケアプラン作成）	16,283,181	13,735,276	2,547,905
	合計	338,450,603	311,466,221	26,984,382

ガール・スカウト茨城支部第40団 ”ずっと頑張っています“

ガール・スカウトとは、ボーイ・スカウトの創立者ベーデン・ボウエルさん（イギリス）の妹アグネスさんによって設立され、10年後の1920年に日本で発足されました。

県内に40番目に出来たのが「ガール・スカウト第40団」（石下地区）で、実践的な活動を通して少女たちの可能性を引き出し育てるものです。

編集員が取材に行った日も卵やバナナ、玉ねぎなどを手に持って重さを量ったり、手のひらや腕を使ってテーブルの長さを測るなどの基礎訓練をしていました。6歳から小学6年までの少女たちが上下青の制服にベレー帽といういでたちで、とても可愛らしく、頼もしく映りました。

その他にもロープの結び方やテントの張り方などを覚え、人間が生きていくための基本的なことを身に着けます。

会長の岡田玲子さんは「東日本大震災のようなことに遭遇してもきっとこの訓練は役立つと思います。ただ残念なことに、入団する子どもたちが年々減少しているのです」と話してくれました。

二週間後の定例会は予定を変更して、震災の募金活動をする予定です。

その他にも毎年、赤い羽根の街頭募金活動も行っています。

”第40団”は結成されて八年、粘り強く頑張っています。

ガール・スカウト第40団　問い合せ　0297（42）8349　岡田　玲子

広報委員　下拂有子

しんぶんめーしょん

親子で確認 交通安全教室

水海道児童センター
TEL 23-1902

◀横断歩道の渡り方を聞いています。

毎週火曜日の午前中、子育てサークルとして活動している『幼児教室　アイアイ』・・・ 今年も季節ごとの行事や工作など楽しい計画が予定されております。

5月10日には、ヤマト運輸さんの協力もあり交通安全教室が行われました。本物のトラックを使い、近くで遊んでいると危険なことや、横断歩道の渡り方など指導していただき、親子で貴重な体験をすることが出来ました。

EMボカシ菌が売れています！

心身障害者福祉センター
TEL 22-9400

ふくしＪＯＳＯ１７号に掲載されてから、生ゴミを分解するＥＭボカシ菌が売れています。問い合せも増えました。培養、乾燥、袋詰めと手間と時間がかかりますが、丹精込めて作っていますのでぜひぜひご利用ください。お待ちしております。

▶天気の良い日にビニールハウスの中で乾燥させます。

社協（しゃきょう）は社会福祉協議会の略称です

ボランティア・市民活動

お問い合わせ先
ボランティア･市民活動センター(社協)まで
TEL23−2233　FAX23−2234
http://www.joso-shakyo.jp/volunteer_center/

話を聴くって楽しい！傾聴ボランティア

５月２６日(木)・６月２日(木)・９日(木) の３日間、傾聴ボランティア養成講座を２３名の参加者で開催しました。

当日は、「茨城いのちの電話」の方を講師に招き、傾聴の基礎知識やコミュニケーションの基本などを講義とロールプレイで学びました。

参加された方からは

〇グループワークが楽しく、話し合いがたくさんできました。
〇相手の話に割り込まず聞くことが大切だと感じました。
〇知り合いができました。　　などの声がありました。

ちょっと体験！ちょっと見学！　～1日体験・見学ボランティア～

「ボランティアってなんだろう」「どのように始めたらいいの」「活動を見てみたい」そんな気持ちをお持ちの方はいませんか。当センターでは、あなたの気持ちを応援します！

どのような体験・見学ができるの？

★地域での助け合い活動…高齢者を招いて食事・交流会などをする活動
★手話・要約筆記ボランティア…耳の不自由な方に情報を届ける活動
★点訳・朗読ボランティア…目の不自由な方に情報を届ける活動
★子育てを応援する活動…乳幼児をもつ親子･世代間交流をする活動　など

詳しくは、全戸配布チラシ(7月上旬)をご覧ください！

ボランティア・市民活動助成金

市民の自主的なボランティア・市民活動の推進を図るために、地域や社会の問題課題に取り組む団体に対し、その事業費の経費の一部を共同募金配分金の活用により助成いたします。

【対象団体】

市内を活動拠点とし、地域や社会問題に取り組む営利を目的としない団体
※当センターに登録が必要です

【助成金額】

１団体３万円を上限とし、総事業費の９０％以内
※他団体から助成を受けている事業は対象外

【助成対象期間】

平成２３年６月１日～平成２４年３月３１日

広報委員のいこ♥みて きいて

備えあれば憂いなし！

建築士会常総支部（会員72名）では、社協との共同事業として、家具転倒防止金具の取り付けをボランティアで行っています。

今回は、支部長の岡田さんにお話を伺いました。

建築士会がこの事業に取り組んだきっかけは、平成19年から始まった古い木造住宅の診断を始めている内に、社協のほほえみネットワークからの呼びかけがあり平成20年から始めたそうです。

今年は3月1日から誰もが驚いた東日本大地震の11日をはさんで18日まで活動されたそうです。社協から提供された名簿をもとに会員が各家庭を訪問して、〝ふんばる君・L字金具・たんすストッパー等〟その家具に合った金具を取り付けると共に、少しでも安心して過ごせるようにアドバイスもして来るそうです。いつ起きるか分からない地震に心細く思う常々ですから、特に高齢者の方、1人住まいの方には何よりの心遣いだと思います。

岡田さんは「皆さんに喜んでもらえ、やりがいのある事業なので広く知ってもらいずっと続けていきたい」と話していました。

〝自分の家も〟と希望される方は社協にぜひご連絡下さい。

広報委員　星野ヨシ

▲L字金具でしっかり家具を固定します。

広報委員のちょっとおじゃまします！

東日本大震災の翌日、社協内に常総市災害ボランティアセンターを立ち上げました。

今回は、3月13日にひとり暮らしの高齢者など約300名に電話での安否確認の活動をした中の女子高校生4名にお話を伺いました。

ボランティア参加のきっかけは？

石塚さん：12日に藤川さんからメールで誘われて参加しました。

寺田さん：私も藤川さんに誘われての参加です。

依田さん：私も同じです。

藤川さん：お父さんが、やってみたらと話してくれたのがきっかけです。

実際に活動して、感じたことは？

石塚さん：いつもはできない事で、お年寄りと話すことができて良かったです。「電話かけてきてくれて、ありがとう」の言葉がうれしかったです。

寺田さん：耳が遠い方に伝えるのが大変でした。電話をかけた事で感謝された事が心に残っています。

藤川さん：若い人ならインターネットで情報が入るけど、お年寄りはテレビなどの情報だけなので、役に立てた気がしました。

依田さん：自分の家が大変なのに、自分より被災地を心配していたり、はじめて話をしたのにいろいろ話してくれて、お年寄りとお話をして、思いやりの心を感じました。

また、参加しようと思いますか？

全　員：参加したいと思います。

現在高校3年生の心強い参加者に心から感謝とエールを贈ります。

広報委員　植木邦江

電気は正しく付けましょう。

みんなに伝えたいあなたのハート

「社会福祉のために役立てて下さい」と
皆さまから社協へ寄せられた善意は次のとおりです。
ありがとうございました。

平成23年 3月9日から平成23年 6月 8 日（敬称略）

現金	
常総市母子寡婦福祉会	12,000円
㈱オリエンタル商事	48,358円
水海道二高家庭クラブ	8,126円
匿名	23,904円
利根コカ・コーラボトリング㈱	5,584円
匿名	10,000円
石下料理教室	420円
匿名	10,000円
匿名	200,000円
五徳食堂	5,000円

物品	
松崎廣子	未使用はがき
匿名	マスク
退職公務員連盟水海道支部	タオル、石鹸、歯ブラシ、マスクなど
ブレイズ	お菓子
五徳食堂	未使用はがき
匿名	未使用切手
寺田徳一	未使用切手
麗都水海道	お菓子
前田光雄、五木田悦郎、寺田徳一、水海道女声コーラス、岡田小学校、富田浩、社会福祉課、遠藤扶美、匿名	
以上書き損じはがき、使用済みテレカ、使用済み切手など	

水海道二高家庭クラブからの寄付

募　集

登録ヘルパー・訪問入浴担当看護師を募集します。

社協で運営する介護保険事業所の登録ヘルパー（養成研修２級以上）、訪問入浴担当看護師を募集します。

・**登録ヘルパー**　時給９５０円～１，１００円
・**看護師（正看、准看問わず）** 時給１，１００円～１，３００円

※詳細は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。
TEL　２５－１００１（担当：坂野）

心配ごと相談所　～ひとりで悩んでいませんか～

隣人トラブルや離婚など、日頃かかえている悩みについてご相談ください。相談員や弁護士が無料でお話をうかがいます。

◆心配ごと相談
日　時　毎週火曜日（午後 1:00～4:00）
場　所　第１・３・５火曜日　社協本所
　　第２・４　火曜日　社協石下支所

◆法律相談
日　時　６月２８日、７月２６日、８月２３日
場　所　社協本所　（午後 1:00～4:00）
※事前に社協までお申し込みください。

さんぽみち

皆さんもよくご存知のベルマーク。集めた点数で学校の教材や備品を買うことができます。娘が通う小学校でも集めており、子どもたちとＰＴＡが協力して仕分け、集計を行います。１点で１円分のお買い物ができるので、点数が集まれば高額商品も夢ではありません。

「電卓は忘れないように」「字が小さすぎて虫めがねが欲しいよね」などと、おしゃべりをしながらの集計作業も楽しいものです。

ちなみに21年度の全国の集票点数は４億８千万点だそうです。まさに「塵も積もれば山となる」ですね。私もがんばろう！

広報委員　大津礼子